

ドラッカー研究所米国株 ファンド（資産成長型）

運用報告書（全体版） 第2期

（決算日 2023年12月19日）

（作成対象期間 2023年6月20日～2023年12月19日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2022年12月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ドラッカー研究所米国株マ ザーファンドの受益証券	
	ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株 式および店頭登録株式（上場 予定および店頭登録予定を含 みます。また、DR（預託証 券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、信託財産の成長に資することを目的に、 配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案 して分配金額を決定します。ただし、配当等 収益が少額の場合には、分配を行なわないこ とがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、米国株式の中から、企業の
無形資産価値の高さに着目してポートフォリ
オを構築し、信託財産の成長をめざしており
ます。当作成期につきましてもそれに沿った
運用を行ないました。ここに、運用状況をご
報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
1 期末 (2023年 6 月 19 日)	円 13,318	円 0	% 33.2	% 96.1	% —	百万円 2,530
2 期末 (2023年 12 月 19 日)	円 14,495	円 0	% 8.8	% 98.6	% —	百万円 11,383

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

ドロッカー研究所は、ドロッカー研究所データおよびファンド計算のためにドロッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドロッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドロッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドロッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドロッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドロッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

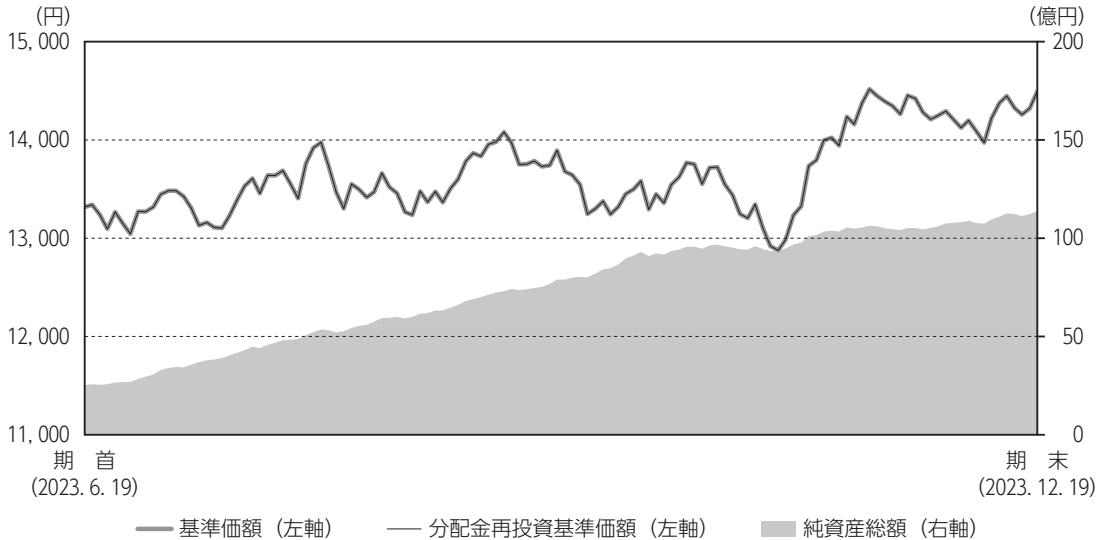
"The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service."

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,318円

期末：14,495円（分配金0円）

騰落率：8.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことをがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰 落 率 %		
(期首)2023年6月19日	13,318	—	96.1	—
6月末	13,316	△ 0.0	96.0	—
7月末	13,758	3.3	98.5	—
8月末	13,866	4.1	97.1	—
9月末	13,451	1.0	97.1	—
10月末	12,986	△ 2.5	98.1	—
11月末	14,248	7.0	99.1	—
(期末)2023年12月19日	14,495	8.8	98.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 6. 20 ~ 2023. 12. 19）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、複数の物価指標の下振れによりインフレ警戒感が後退したことに加え、F R B（米国連邦準備制度理事会）高官発言などにより米国経済への見方が改善し、堅調な推移となりました。2023年8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避され、一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感され、大幅に上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、上昇しました。2023年7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が大きく上昇したことや、日銀が緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから、再び円安米ドル高が進行しました。12月に入ると、F O M C（米国連邦公開市場委員会）の利下げ見通しやパウエルF R B議長の発言がハト派への転換と受け止められ、米国金利が大幅に低下したことなどから日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安基調となり当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドロッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ドロッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」や特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、ドロッカー研究所スコアを活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 6. 20 ~ 2023. 12. 19)

■当ファンド

当作成期を通じて「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、好調な決算を発表した EXPEDIA GROUP INC、業績が好調で生成AI（人工知能）関連としても期待される ADOBE INC、潤沢なキャッシュフローと安定した株主還元を擁する INTUIT INC などがプラスに寄与しました。一方で、今期の会社計画を下方修正するなど失望的な決算を発表した ILLUMINA INC、ETSY INC、BIOGEN INC などがマイナス要因となりました。

個別の売買では、2022年12月に発表された2023年の「ドラッカー研究所スコア」を加味した売買を行い、イノベーションスコアなどが上昇した ALPHABET INC や顧客満足スコアなどが上昇した AMAZON.COM INC、PALO ALTO NETWORKS INC などを買付けました。一方で、顧客満足スコアやイノベーションスコアなどが低下した MONDELEZ INTERNATIONAL INC、AUTOMATIC DATA PROCESSING、BIOGEN INC などを売却しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年6月20日 ～2023年12月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,494

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 20~2023. 12. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	111円	0.811%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,664円です。
（投 信 会 社）	(60)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(49)	(0.357)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.023	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0.023)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.015	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	116	0.849	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

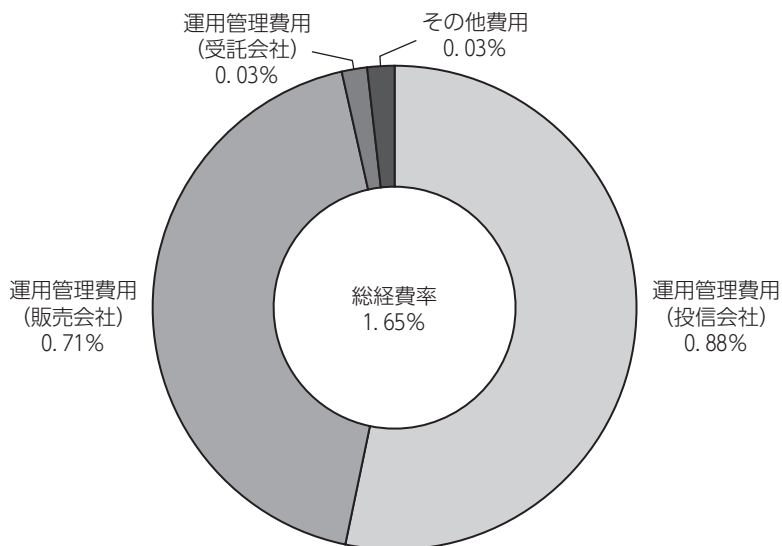
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月20日から2023年12月19日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ドロッカー研究所 米国株マザーファンド	6,045,675	8,360,613	249,440	362,059

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年6月20日から2023年12月19日まで)

項 目	当 期	
	ドロッカー研究所米国株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	14,809,261千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,189,959千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.05	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
70	—	70	—	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド	1,874,725	7,670,960	11,382,171

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド	11,382,171	98.5
コール・ローン等、その他	176,238	1.5
投資信託財産総額	11,558,409	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.69円です。

(注3) ドロッカー研究所米国株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,352,497千円）の投資信託財産総額（11,382,028千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,558,409,346円
コール・ローン等	176,238,314
ドロッカー研究所米国株 マザーファンド（評価額）	11,382,171,032
(B) 負債	175,264,856
未払解約金	114,206,725
未払信託報酬	60,851,943
その他未払費用	206,188
(C) 純資産総額（A－B）	11,383,144,490
元本	7,853,391,896
次期繰越損益金	3,529,752,594
(D) 受益権総口数	7,853,391,896口
1万口当り基準価額（C/D）	14,495円

* 期首における元本額は1,900,310,325円、当作成期間中における追加設定元本額は7,333,787,847円、同解約元本額は1,380,706,276円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,495円です。

■損益の状況

当期 自 2023年 6月20日 至 2023年12月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,349円
受取利息	938
支払利息	△ 7,287
(B) 有価証券売買損益	786,057,404
売買益	854,142,670
売買損	△ 68,085,266
(C) 信託報酬等	△ 61,058,131
(D) 当期損益金 (A + B + C)	724,992,924
(E) 前期繰越損益金	288,305,212
(F) 追加信託差損益金	2,516,454,458
(配当等相当額)	(1,278,309,603)
(売買損益相当額)	(1,238,144,855)
(G) 合計 (D + E + F)	3,529,752,594
次期繰越損益金 (G)	3,529,752,594
追加信託差損益金	2,516,454,458
(配当等相当額)	(1,278,309,603)
(売買損益相当額)	(1,238,144,855)
分配準備積立金	1,013,304,485
繰越損益金	△ 6,349

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	724,997,347
(c) 収益調整金	2,516,454,458
(d) 分配準備積立金	288,307,138
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,529,758,943
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,529,758,943
(h) 受益権総口数	7,853,391,896口

ドラッカー研究所米国株マザーファンド

運用報告書 第2期 (決算日 2023年12月19日)

(作成対象期間 2023年6月20日～2023年12月19日)

ドラッカー研究所米国株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

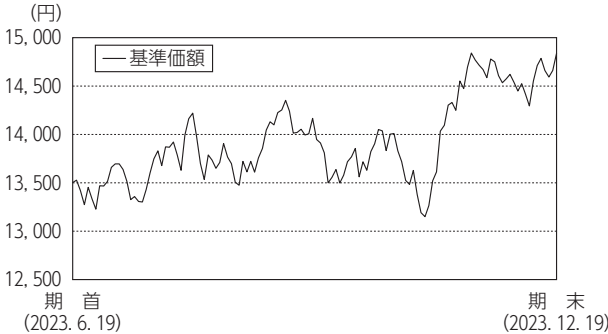
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率%		
(期首) 2023年6月19日	13,503	—	96.1	—
6月末	13,515	0.1	96.0	—
7月末	13,994	3.6	98.5	—
8月末	14,131	4.7	97.1	—
9月末	13,717	1.6	97.1	—
10月末	13,264	△ 1.8	98.1	—
11月末	14,574	7.9	99.1	—
(期末) 2023年12月19日	14,838	9.9	98.6	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,503円 期末：14,838円 騰落率：9.9%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が堅調に推移したことにより保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドル円為替相場が上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、複数の物価指標の下振れによりインフレ警戒感が後退したことに加え、F R B（米国連邦準備制度理事会）高官発言などにより米国経済への見方が改善し、堅調な推移となりました。2023年8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避され、一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感され、大幅に上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、上昇しました。2023年7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が大きく上昇したことや、日銀が緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから、再び円安米ドル高が進行しました。12月に入るとF O M C（米国連邦公開市場委員会）の利下げ見通しやパウエルFRB議長の見解がハト派への転換と受け止められ、米国金利が大幅に低下したことなどから日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安基調となり当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」や特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、ドラッカー研究所スコアを活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、好調な決算を発表した EXPEDIA GROUP INC、業績が好調で生成AI（人工知能）関連としても期待される ADOBE INC、潤沢なキャッシュフローと安定した株主還元を擁する INTUIT INC などプラスに寄りました。一方で、今期の会社計画を下方修正するなど失望的な決算を発表した ILLUMINA INC、ETSY INC、BIOGEN INC などがマイナス要因となりました。

個別の売買では、2022年12月に発表された2023年の「ドラッカー研究所スコア」を加味した売買を行い、イノベーションスコアなどが上昇した ALPHABET INC や顧客満足スコアなどが上昇した AMAZON.COM INC、PALO ALTO NETWORKS INC などを買付けました。一方で、顧客満足スコアやイノベーションスコアなどが低下した MONDELEZ INTERNATIONAL INC、AUTOMATIC DATA PROCESSING、BIOGEN INC などを売却しました。

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	3円 (3)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	5

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2023年6月20日から2023年12月19日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	(6,018.61 —)	(78,020 —)	2,126.93	23,161

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2023年6月20日から2023年12月19日まで)

銘 柄	当 期			期 付		
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	45,129	915,276	20,281	15,443	337,806	21,874
AMAZON.COM INC (アメリカ)	40,459	881,671	21,791	8,624	334,320	38,766
APPLE INC (アメリカ)	30,815	821,293	26,652	16,519	330,153	19,986
MICROSOFT CORP (アメリカ)	15,97	775,273	48,545	29,027	315,765	10,878
NVIDIA CORP (アメリカ)	9,108	589,661	64,741	30,019	315,586	10,512
CISCO SYSTEMS INC (アメリカ)	53,802	412,570	7,668	8,449	257,927	30,527
PEPSICO INC (アメリカ)	15,09	392,504	26,010	7,536	253,760	33,673
ADOBE INC (アメリカ)	5,062	388,978	76,842	6,992	234,980	33,607
COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	4,399	360,187	81,879	19,495	224,129	11,496
NXP SEMICONDUCTORS NV (オランダ)	11,608	342,540	29,508	43,74	209,361	4,786
T-MOBILE US INC (アメリカ)						
AMGEN INC (アメリカ)						
EXPEDIA GROUP INC (アメリカ)						
ETSY INC (アメリカ)						
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A (アメリカ)						
MARRIOTT INTERNATIONAL-CL A (アメリカ)						
AUTOMATIC DATA PROCESSING (アメリカ)						
BIOGEN INC (アメリカ)						
NETAPP INC (アメリカ)						
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)						

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
PALO ALTO NETWORKS INC	—	77.94	2,397	342,067	情報技術	
ADOBE INC	16.47	59.49	3,564	508,579	情報技術	
AUTODESK INC	25.57	99.04	2,368	337,953	情報技術	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	17.87	—	—	—	資本財・サービス	
APPLE INC	91.09	390.47	7,648	1,091,423	情報技術	
CADENCE DESIGN SYS INC	—	67.77	1,853	264,477	情報技術	
CISCO SYSTEMS INC	139.69	669.87	3,365	480,212	情報技術	
COSTCO WHOLESALE CORP	11.09	54.44	3,708	529,190	生活必需品	
T-MOBILE US INC	34.54	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
EXPEDIA GROUP INC	41.7	—	—	—	一般消費財・サービス	
AMAZON.COM INC	—	404.59	6,233	889,460	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL C	—	451.29	6,191	883,429	コミュニケーション・サービス	
NXP SEMICONDUCTORS NV	18.76	93.22	2,137	305,044	情報技術	
MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A	22.08	—	—	—	一般消費財・サービス	
NETAPP INC	51.15	—	—	—	情報技術	
PEPSICO INC	38.59	187.23	3,162	451,257	生活必需品	
QUALCOMM INC	45.35	204.86	2,901	414,063	情報技術	
ETSY INC	56.26	—	—	—	一般消費財・サービス	
NVIDIA CORP	37.18	110.64	5,540	790,576	情報技術	
ANALOG DEVICES INC	22.74	109.95	2,161	308,425	情報技術	
ADVANCED MICRO DEVICES	47.57	226.77	3,149	449,449	情報技術	
AMGEN INC	20.96	—	—	—	ヘルスケア	
KEURIG DR PEPPER INC	99.3	—	—	—	生活必需品	
INTEL CORP	191.75	702.37	3,209	457,910	情報技術	
ILLUMINA INC	23.34	156.95	2,026	289,121	ヘルスケア	
INTUITIVE SURGICAL INC	—	68.18	2,239	319,506	ヘルスケア	
MICROSOFT CORP	48.35	196.53	7,323	1,045,017	情報技術	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	61.87	—	—	—	生活必需品	
EBAY INC	103.64	512.9	2,180	311,185	一般消費財・サービス	
PAYPAL HOLDINGS INC	75.98	365.4	2,246	320,497	金融	
BIOGEN INC	14.02	—	—	—	ヘルスケア	
INTUIT INC	10.64	49.33	3,050	435,306	情報技術	
ファンド合計	株数、金額	1,367.55	5,259.23	78,661	11,224,158	
	銘柄数 < 比率 >	27銘柄	22銘柄		<98.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2023年12月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	11,224,158 千円	98.6 %
コール・ローン等、その他	157,869	1.4
投資信託財産総額	11,382,028	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(11,352,497千円)の投資信託財産総額(11,382,028千円)に対する比率は、99.7%です。

■損益の状況

当期 自 2023年6月20日 至 2023年12月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35,638,923円
受取配当金	35,654,727
支払利息	△ 15,804
(B) 有価証券売買損益	817,258,877
売買益	1,166,818,112
売買損	△ 349,559,235
(C) その他費用	△ 913,222
(D) 当期損益金 (A + B + C)	851,984,578
(E) 前期繰越損益金	656,764,955
(F) 解約差損益金	△ 112,618,655
(G) 追加信託差損益金	2,314,937,395
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,711,068,273
次期繰越損益金 (H)	3,711,068,273

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,405,128,667円
コール・ローン等	153,206,798
株式(評価額)	11,224,158,839
未収入金	23,121,789
未収配当金	4,641,241
(B) 負債	23,100,000
未払金	23,100,000
(C) 純資産総額 (A - B)	11,382,028,667
元本	7,670,960,394
次期繰越損益金	3,711,068,273
(D) 受益権総口数	7,670,960,394口
1万口当り基準価額 (C/D)	14,838円

* 期首における元本額は1,874,725,069円、当作成期間中における追加設定元本額は6,045,675,975円、同解約元本額は249,440,650円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ドロッカー研究所米国株ファンド (資産成長型) 7,670,960,394円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,838円です。

ドロッカー研究所は、ドロッカー研究所データおよびファンド計算のためにドロッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドロッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドロッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドロッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドロッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドロッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE) and is not involved in the provision of, this product or service.”

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。